

事務事業名 ふれあいいいきサロン補助事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：1754

施策：	15	地域福祉の推進	財務コード	01030101-24-00
基本事業：	01	地域で支えあい、助けあう仕組みづくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	身近な近所づきあいができている市民の割合 地域内の助けあいによって見守られている人の数 災害等が発生した際に支援を必要とする人が近くにいることを認識している市民の割合		担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成16年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市社会福祉協議会			筑紫野市社会福祉協議会が実施するサロン事業に対して補助を行う。 地域福祉活動推進事業として以下の事業を実施 ・ふれあいいいきサロン事業補助 ふれあいいいきサロンとは、地域住民が気軽に集える場所をつくることを通じて、地域の「仲間づくり」「出会いの場づくり」「健康づくり」をするための活動であり、高齢者サロン、障がい者サロン、子育てサロンが実施されている。ふれあいいいきサロン事業補助は、ふれあいいいきサロン推進のため、ボランティア活動保険、講師謝金、費用弁償の一部を補助している。 活動助成金算出方法 活動運営費12,000円＋開催回数×2,000円（上限6万円） その他にも、サロンへの訪問支援、用具の貸し出し、サロン連絡会等を行っている。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
筑紫野市全域で高齢者等のつながりや支え合いが生まれ、地域福祉を進めることができる。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	02年度 実績	03年度 実績	04年度 当初	05年度 要求	06年度 計画	07年度 計画	目標
サロン開催回数		回	1,524	1,684	2,000	2,000			2,100
サロン参加者数（延べ）		人	18,285	20,601	30,000	30,000			30,000
5. コスト									
事業費		計	千円	1,944	2,058	2,693	2,575		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般		千円	1,944	2,058	2,693	2,575			
正職員人工数		人工	0.02	0.02	0.02				
正職員人件費		千円	161	158	155				
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)		千円	2,105	2,216	2,848	2,575			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		サロン開催回数は、令和2年度は1,524回、令和3年度は1,684回と増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響により目標を下回っている。 また、参加者数について、新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年度は29,309人（延べ）だったが、令和3年度は20,601人と減少した。 コロナ禍において人とのつながりが希薄になりがちであるため、サロン活動の重要性は高まっている。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改善案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
地域で公民館等を活用し、歩いていけるような身近なところで高齢者と地域住民が気軽に集まれる場や仲間づくりを目的として、「ふれあいいいきサロン事業」の推進を平成13年度に開始し、平成16年度から補助を行っている。			備考・特記事項 or 進行管理欄						